

ペルー新報記事概要（7月9日付）

1. 見出し（第1面）

オリンピック・チャンピオンの山下泰裕氏がラ・モリーナ農業大学に畳を寄贈。目賀田大使が昨日引き渡しを行った。

2. 見出し（第3面）

日本のNGOが99枚の畳をラ・モリーナ農業大学に寄贈。目賀田大使が昨日引き渡しを行った。

3. 本文概要

ラ・モリーナ農業大学の学生の柔道の練習に貢献するため、昨日、日本大使は、山下泰裕氏が理事長を務める日本のNPOから寄贈された99枚の畳を引き渡した。山下泰裕氏は1984年のロサンゼルス五輪で金メダルを獲得しており、柔道連盟の強化委員も務める。

この寄贈は元大使で柔道連盟の国際委員の小川郷太郎氏が農業大学からの要請を山下氏に取り次ぎ、アレンジした。引き渡し式は大学で行われ、目賀田周一郎大使、アベル・メヒア学長、ルイス・マエゾノ全国司法審議会委員（前学長）等が出席した。

スピーチの中で、メヒア学長は41年前、1969年に、70人の柔道を練習していた学生のために、日本から130枚の畳を受け取ったことに触れながら援助に感謝した。また、日本大使は、柔道がペルーで広く普及していることに喜びの意を表した。

4. 山下泰裕氏の略歴紹介

1957年6月1日熊本県山都町生まれ。日本の柔道家を代表する1人。79年代後半に柔道家として大会出場をはじめ、80年代半ばまで活躍した。

山下氏は師匠である白石礼介氏のおかげで、127キロを超え180メートルある巨漢となった。19歳のときに初タイトルをとり、現役中、1977年から1985年まで203連勝を飾り、全日本選手権9回優勝、世界選手権95キロ級で3回優勝し、五輪でも金メダルを獲得した。

プレス・ニッケイ記事概要（7月13日付）

先日開催された式典で、目賀田周一郎駐ペルー日本大使は寄贈された畳をラ・モリーナ農業大学に引き渡した。

式には、目賀田大使のほか、大使館の一等書記官で柔道家である生井沢誠書記官、メヒア学長、ルイス・マエゾノ前学長が出席した。

目賀田大使はスピーチで、畳の寄贈の目的は柔道をラ・モリーナ大でより促進することだと強調した。

（以下、大使のスピーチ内容の紹介。上述のペルー新報のものと同様。）

（了）